



Suehiro Yamamoto

# 山元末広

株式会社モリテック 製造部 生産技術課 課長



## ゴムの切削加工の存在を世界中に知ってもらいたい

### ゴムを“削る”

#### ～金型不要のゴム切削技術～

『ゴムを“削る”』ことに特化した事業を営む(株)モリテック。ゴムを加工して製品をつくるには、金型を使うのが一般的な認識だが、(株)モリテックでは、初期段階の開発費(金型代)をおさえられる金型不要の切削加工を行っている。港区にある本社工場に足を踏み入れると、ずらりとならぶ大型の設備に圧倒される。東京と名古屋にも同様の設備を備える工場があり、万が一のときも製品を安定して供給できる。

### ゴムの切削加工は特殊な技

#### ～いかに次の世代に伝えるか～

ゴムの切削加工をしている会社は、世界中を見渡してもほとんど存在しない。(株)モリテックが揃える最新鋭のNC加工機を使いながら、最後は熟練した職人が汎用工作機を駆使し手加工で仕上げをする。切削加工なので、1点からでも製作できることが強みだ。

そんなゴムの切削加工における課題は、その技能の特殊性と希少性を伝えていくことだ。山元さんは、長年培ってきたゴム切削加工の創意工夫と経験をかかわれ、生産技術課長を務める。ゴムの切削加工の特殊性ゆえ、資格などが無い。そこで、山元さんを中心に、社内技能認定制度を設けるなど、会社としてゴムの切削加工の技術を伝え、習得できる環境づくりを進めている。

今では現場を離れ、経験から得た知識を伝える立場にある山元さん。若い子の作業を見て「自分がやっ



た方が早い』と思うこともある。けれど、それでは意味がない。『目の前の難題から逃げない』、『どうやったらできるのか考える』ことの大切さを丁寧に伝えながら、後進の育成にあたっている。「自分で限界の壁をつくり、ここまでしかできないという言葉で完結させてしまうのが好きではないだけです。」

### 「今の自分は結果にすぎない。」

入社を決め手は、職場の近さと初任給の良さ。入社当時は数十人の町工場だった。それから34年、今では270人の従業員をかかえる。入社から約25年間は旋盤クロ加工や切板切削加工に携わり、10年ほど前に現場を離れ、指導者や後継者育成の道へ。山元さんに白羽の矢が立った理由は、オールマイティな技能と旺盛な探求心とのこと。「今の自分は結果にすぎない。」と、“成り行き”で今があると言う山元さん。『ものづくり』が好きで入社したわけではなかった。ただ、やっていくうちに、どんどん『ものづくり』がおもしろくなってきた。“積み重ね”てきた技術と探求心あふれる姿勢が、結果、今の山元さんにつながっている。



### 今の若い子のめざすところをつくりたい

(株)モリテックには、約200人の技術者がいる。これまで多くの後輩の指導・育成にあたってきた山元さん。「今の若者には気力がない」などと言われるが、単に目標を見つけることができているだけではないかを感じている。我々が、若い世代に目標を示すことができれば、若者をもっと光る、成長できる。自分が今の若い子のめざすところをつくりたい。」先輩の姿に憧れ、目標にすることで成長してきた山元さんは、偉大な先輩方から後進育成への思いも受け継いでいる。

### Profile ゴムの切削加工を熟知し、技を伝える

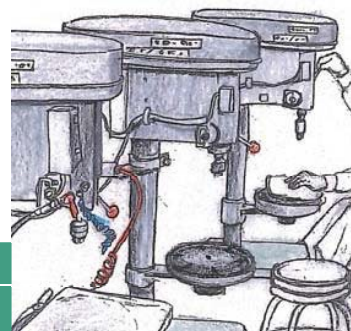
世界でも珍しいゴム切削加工に特化する株式会社モリテックで、生産技術課課長を務める山元末広さん。最新鋭のNC加工機を使いながら、最後は熟練した職人が汎用工作機を駆使し、手加工で精密に仕上げられるゴム切削加工において、全工程の技術を熟知するスペシャリストだ。

特殊な技能であるゴム切削加工の課題は、その技を「伝えていく」こと。現在は、これまで培ってきた技と経験を、後進に伝える仕事を担い、社内での技能的難題に対して頼りになる技術の拠り所的存在である。

所属企業 株式会社モリテック

〒552-0012 大阪市港区市岡2丁目1-7 TEL:06-6573-5683 FAX:06-6574-5886

HP: <http://www.moriteq.co.jp>



大阪テクノマスターとは…大阪市内のものづくり企業で活躍する“ものづくり”のスペシャリスト。

問合せ先 ▶ 大阪市 経済戦略局産業振興部 〒559-0034 大阪市住之江区南港北2-1-10 ATCビル オズ棟南館4階 TEL:06-6615-3761 FAX:06-6614-0190